



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

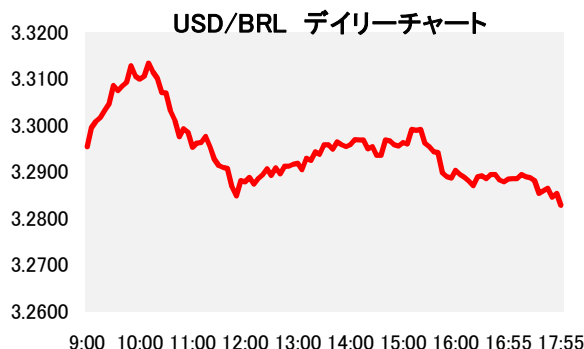
## 1. マーケット・レート

			6月12日	6月13日	6月14日	6月16日	6月19日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.3190	3.3140	3.2750	3.2920	3.2830	-0.0090
	BRL/JPY	Spot	33.12	33.21	33.45	33.69	33.98	+0.29
	EUR/USD	Spot	1.1206	1.1209	1.1219	1.1198	1.1150	-0.0048
	USD/JPY	Spot	109.94	110.06	109.57	110.88	111.54	+0.66
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	9.215	9.245	9.223	9.144	9.058	-0.086
	Future	1Year(p.a.)	9.040	9.074	9.057	8.961	8.862	-0.099
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.257	2.243	2.221	2.257	2.339	+0.082
	USD	1Year(p.a.)	2.460	2.449	2.428	2.419	2.505	+0.086
株式	Bovespa指数		61700	61829	61923	61626	62014	388
CDS	CDS Brazil 5y		237.30	235.83	230.22	238.56	237.74	-0.82
商品	CRB指数		175.930	175.835	173.024	173.052	171.283	-1.77

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

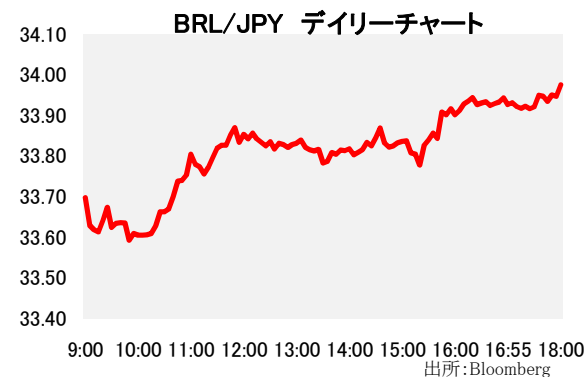
## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
IGP-M Inflation 2nd Preview	-0.6%	-0.6%	-0.9%
FGV CPI IPC-S	0.1%	0.1%	0.4%
貿易収支(週次)	--	\$1363m	\$1487m



## 3. 要人コメント

テメル伯財務相	2019年は4%のインフレ目標を設けるのは可能である。
---------	-----------------------------



## 4. トピックス

- 本日のレアルは3.2880で寄り付いた。直後に本日の安値となる3.3140まで売られたが、大口の資金流入の噂が聞かれるとレアルは急反発し、日中高値となる3.2850まで買い戻された。午後には特段材料に乏しい中、レアルは3.28台後半から3.29台で方向感に乏しい動きとなり、結局3.2830でクローズ。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.41%から0.40%、2018年は2.30%から2.20%へそれぞれ下方修正された。インフレ率予想は2017年が3.71%から3.64%へ、2018年は4.37%から4.33%へそれぞれ下方修正。為替レートは2017年末が3.30、2018年末は3.40で据え置かれた。
- 本日、ゴールドファイン伯中銀総裁はイベントで会見し、ここ数週間で不安材料が増えたとコメント。しかしインフレの動きは引き続き好ましい水準であり、金融緩和サイクルが想定よりも進む可能性に言及した。これを受けて先物金利は全各期間において下落した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作権法により保護されており、当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。